

寿楽苑だより

116号



社会福祉法人 舟見寿楽苑

発行責任者/施設長 高村 敏 明

〒938-0103 富山県下新川郡入善町舟見1664

TEL 0765-78-1935 / FAX 0765-78-1941

e-mail : jurak273@funamijurakuen.jp

http://www.funamijurakuen.jp

舟見寿楽苑

検索

発行/令和 4年 3月20日

節分に赤鬼襲来

2月3日の、昼下がりのこと。入居者様が、ゆったりと過ごしているところへ、突然やってきたのが、太い棍棒を持った赤鬼。

「わあ。鬼やわ」と驚いた様子が入居者様でしたが、職員が鬼に扮しているのが分ると、大きな声で「こんな鬼なら、あっかなないわ。鬼は外、福は内」。

そして、「は、ははは」と、笑いながら豆に見立てた玉を投げつけます。入居者様は、鬼に向かって豆をぶつけることで、気分転換にもなったらしく、無病息災を願いながら、笑顔あふれる時間を過ごしました。



ひな祭りの装飾作り



2月中旬から下旬にかけて、小ホールで、ひな祭りに向けた装飾作りを行いました。

お雛様のちぎり絵や、桜の花の飾りなどです。

入居者様、いつもは見せないような、真剣な表情で作業に取り組みます。

ある時、「あかりをつけましょ、ぼんぼりに」と歌い出した方がいて、それにつられたかのように、歌の輪がホール中へと広がる場面も。

出来上がった作品を見て、「きれいに、できたね」「春になったが、みたいや」と、笑顔の花が、小ホールいっぱい咲き誇っていました。

新型コロナウイルスワクチン3回目の接種

入居者様と職員への新型コロナウイルスワクチン3回目の接種が、2月25日に完了しました。

1月から2月にかけて、3回に分けて行ったもので、職員を含め基礎疾患など特別な理由のある入居者様を除いて、全員に接種。

看護・介護職員が、居室や広場等で待機する入居者様のもとへ出向き、お一人ずつ順番にです。

昨年2度のワクチン接種経験があり、事前準備も万全になされ、とてもスムーズに行われました。

入居者様は、接種が済んだ後「あれっ。もう終わったが、ぜんぜん痛なかったよ」。



ひばり野苑

節分の豆まき

2月3日、広場で節分の豆まきを行いました。

「鬼は外、福は内」と声がかかると、豆の代わりに渡されたお手玉を、入居者様が赤鬼に扮した職員目かけ、一斉に投げます。

すると、鬼は「あっ。痛た、た」と、頭を抱えて降参。

その後、鬼と一緒に記念写真を撮るときに、鬼から言葉をかけられると「あれっ。知っとる声やぜ」と、鬼の顔をまじまじと見つめる入居者様。

「体でかいけど、おっかなない鬼やったわ」などと、笑い声も聞こえる、賑やかな節分になりました。



ひな祭りは、目と手と口で

3月3日、ユニット広場でひな祭りを開催しました。

テーブルに飾られたひな人形を見て、「なんて、かわいらしいがいろ」と、女雛に手を伸ばし、優しく撫で始めた入居者様。

また、広場に流れる「うれしいひなまつり」の曲を口ずさむ入居者様など、楽しみ方もそれぞれです。

桃の節句に合わせて準備した、抹茶とケーキも、大好評。

この日は、目で見て、手で触り、おいしい物を満喫できた、楽しいひな祭りになったようです。



喜楽苑

ひな祭りは、大賑わい



3月4日、3か所の広場を会場にして、ひな祭りを開催しました。

お雛様とお内裏様に扮装した職員が登場すると、入居者様から「あらっ。女のさん、きれいやね」「男のさんも、冠かぶって、格好いいわ」などと、声が上がります。

まず、参加者全員で「うれしいひなまつり」の歌。入居者様は、子供の頃から知っている歌ですから、歌詞を見なくても、自然に口から出てきます。

そして、可愛いメイド服姿の職員が、「バレンタインデイクiss」の曲に合わせて、踊りを披露。



続いて、赤い着物姿のお雛様が、「夜桜お七」の歌を披露すると、会場から大きな手拍子が沸き起ります。

「アンコール」の声も上がったのですが、この日は他も回らねばならず、時間的に無理なため「ごめんなさい、この次は必ずね」と、謝りながら移動です。

踊りと歌の次は、お雛様お内裏様と一緒に記念撮影。入居者様は、素敵な笑顔で「はい。ピース」。

続いてのおやつ時間では、ひな祭りには欠かせない甘酒と、大好きな和菓子をいただきました。

ショートステイ

テーブルカーリングで金メダル

2月15日、北京オリンピックが、終盤にさしかかっていたこの日、各国代表の選手に負けにくいほどの熱戦が、ショートステイでも繰り広げられました。

その種目は、氷上のカーリングならぬ、テーブルカーリング。

テーブルを氷上に見立て、ストーンの代わりに、国旗が貼られた紙コップを滑らせます。

より遠くへ滑らせ、テーブルの上に表示されている高得点を獲得して、目指すは金メダル。

利用者様は「上手に、出来るかな」「よし。金メダル、目指すよ」などと、意気込みが違います。



スーっと、滑らせるように投げる利用者様。また、工夫し手へ当ててから、投げるように遠くへ飛ばす利用者様など、やり方は様々です。

「あー。下へ落ちて行ってしもた」「すごいねか。あんなに、遠くへ飛んだよ」などと、盛り上がります。

どなたも頑張ったのですが、これは勝負。合計点数の一番高い利用者様に、金メダル。そして、次点の方に、銀メダルが授与されました。

メダルを受けた利用者様はもちろん、取れなかった方も、笑顔いっぱいのテーブルカーリングでした。



デイサービス

洗濯物干しゲーム



2月7日に、洗濯物干しゲームを行いました。

折り紙で作った洗濯物の洋服を、物干しへ吊るしていくというゲームです。

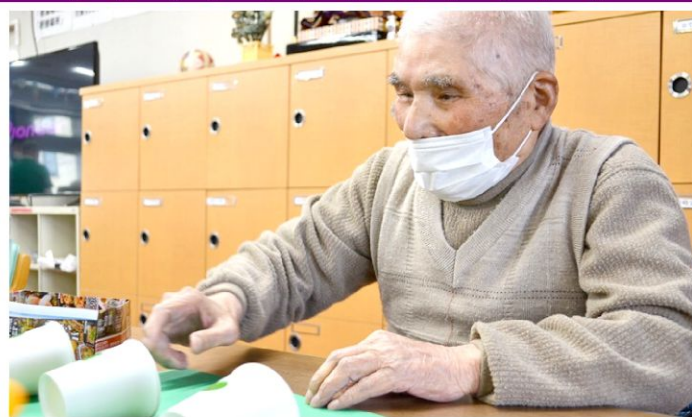
洋服は1着1点ですが、職員があらかじめ選んで書いた数字の洋服を吊ると、点数が10点になったり、逆にマイナス10点になったりするというルールも。

時間内、懸命に洋服を吊るした後、10点とマイナス10点になる数字が発表されると、会場から、悲鳴のような声が上がります。

「ありゃー、マイナス10点の服吊るしてしもたわ」

「洗濯バサミ気になって、洋服選ばれんだもん」。

コップボウリングはドキドキ



2月10日、コップボウリングゲームを開催。

横に寝かし点数の書かれた紙コップの中へ、ピンポン玉を転がして入れていくというゲームです。

点数は10点、50点、100点の3種類。転がすピンポン玉4個のうち3個はオレンジ色ですが、残りの1個は白色で、その玉が入ると点数が2倍になります。

白いピンポン玉を、慎重に転がす利用者様もいれば、思い切り投げるように転がす利用者様も。

「玉転がすとき、胸ドキドキ緊張するわ」

「こんなとき、リラックスした方がいいがいぜ」

「ほら見っしょい、100点入ったよ。良かったねか」

まごころ善意

令和 4年 1月18日～令和 4年 3月17日
(順不同・敬称略)

寄付物品

- ・早川 久義
- ・名越 登美子
- ・込尾 修一
- ・廣田 義昭
- ・(株)スマイルサポートわかば
- ・匿名



寄付金

- ・ひばり野小学校児童会
- ・匿名



ご家族様へのお知らせ

慰問・ボランティア等の受け入れについては、令和3年度に引き続き、原則として令和4年度も中止させていただきますのでお知らせ致します。

施設内に飾られたお雛様



上映会、400回目は喜楽苑



2月17日、喜楽苑のひまわり広場で、400回目になる上映会を開催しました。

入居者様・利用者様から、「今日、なんの映画、見せてもらえるか。楽しみにしているが、声をかけていただいている上映会です。」

この日は、昭和42年封切の映画「夕笛」。舟木一夫主演で、相手役は松原智恵子。

「昭和はじめての頃の話やから、あんなことあったが、わかる気がするわ」「でも、最後は、かわいそうで見とれんだよ」などと。

編集後記

探し物を取りに、家の小屋へ行ったときのこと。雪が降る前に収穫した大根が、何本か残っているのに気がつきました。切り落とし損ねた葉がすっかり黄色くなっており、しなびた大根の中は、おそらくスガ。家人が、「せっかく育てたけど、口へは入らんかったね」。そして、「あんな手間暇かけて作った、大根やったがに」。

食材を求めにスーパーへ行くと、この時期でもキュウリやトマト、外国産の見たこともないような果物や野菜等が売られており、ついそちらへ手が。季節に関係なく食材が手に入るのは、とてもありがたいこと。だけど、どうしても目新しい物に惹かれ、それで、家にある大根を捨てねばならない羽目に。

汗水たらして育てた恵みの野菜を、というっかり等の理由で簡単に処分するようなことがあっていいはずは。野菜に限らず、お金を払えば買えるのだからと、物を粗末に扱っていなかったか、胸に手を当てて。